

令和6年度第4回自立支援協議会テーマ別部会
障がいのある方と防災について 議事要旨

1. 開催日時 令和6年12月24日(火) 14時～15時30分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室

3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載

浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、浦安市聴覚障害者協会
(福)浦安市社会福祉協議会、(福)敬心福祉会、(福)千楽、(福)佑啓会
障がい事業課
(事務局)浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

(1) 福祉避難所開設訓練に参加しての振り返り、気づきの共有

(2) 1月以降の活動内容の確認

3. 閉会

5. 配布資料

次第

福祉避難所開設訓練 報告書

当日写真

6. 議事要旨

(1) 福祉避難所開設訓練に参加しての振り返り、気づきの共有

■体制について

○災害備蓄品

- ・備蓄品は各施設でどこまで用意するのか。補聴器用の電池、医療的ケアの方に対応できる物品、電源確保など課題。
- ・医療的ケアの方に対応できる食事を避難所で備蓄することは難しいため、市と病院との連携体制の構築や資材確保が必要である。
- ・避難先の非常用電源が数時間しか持たないということが判明。これは、医療的ケアの方にとっては、致命的。
- ・具体的な人数、日数を想定した備蓄品の確保が必要。

○災害ボランティアの活用

- ・仮設トイレの組み立て等、福祉避難所開設時に力仕事ができる人員が必要となる。その部分をボランティアで対応できるかもしれない。
- ・非常食の運搬や準備、配布、直接的なケアを行わない館内誘導であれば、非専門職であっても対

応可能なため、ボランティアの活用が出来るのではないかと。

- ・福祉避難所が立ち上がる際に、災害ボランティアセンターが立ち上がっているかどうかは課題。立ち上がっている場合には、避難所と災害ボランティアセンターとの連携が重要になるため事前の体制づくりが必要。
- 個別避難計画との連動
 - ・個別避難計画作成が進むとより明確になると思われるが、障がい特性を踏まえた避難先の確保や住み分けが必要。
- その他
 - ・市内の福祉避難所で汎用できる標準化された受け入れマニュアルがあると良いと思う。
- 合理的配慮について
 - ・受付案内表示は、わかりやすいように高い位置に設置する。
 - ・ビブスは、避難期間が長期的になることも見据えて丈夫なものにしてほしい。また、一目見てわかるように、スタッフや避難者を色やマークで、わかりやすく区別できるとよい。
 - ・プライバシーの配慮として、隣が見えないように段ボールで囲うなどの配慮がほしい。
 - ・設備の使用方法について、誰にとってもわかりやすいイラスト等で提示があるとよい。
 - ・聴覚障がいの方への情報保障として、「アイ・ドラゴン」を導入してはどうか。
 - ・障がいのある方の中には、役割を持ちたいと思われる方も多し。一緒に動くことで、不安が軽減するという場合もあるため、当事者スタッフとして入ってもらうという方法もある。

(2) 1月以降の活動内容の確認

- ・福祉避難所における備蓄品の見直し案
- ・部会としての提言書をまとめる